

| | | | | |
|----------------|--|-----------|----------------------------|-----------|
| 科目名 | アジアの観光地理 | 科目分類 | ■ 専門科目群 □ 総合科目群 | |
| | | | 国際学科 | □ 必修 ■ 選択 |
| | | | 学科 | □ 必修 □ 選択 |
| 英文表記 | Tourist Geography of Asia | 開講年次 | ■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年 | |
| | | 開講期間 | □ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中 | |
| ふりがな | よこた けいざぶろう | 実務家教員担当科目 | 修得単位 | 2単位 |
| 担当者名 | 横田 恵三郎 | 実施方法 | ■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用 | |
| 授業のテーマ | アジア諸国を“観光”という切り口で、地理のみならず文化や民族、社会について理解を深め、似て非なるアジア各国の特長を理解することが出来る。 | | | |
| 到達目標 | アジア各国の観光地理や諸文化に関する基本的な知識を習得できる。 | | | |
| 授業概要 | 本講義では、各国の地勢（位置）をまず把握したうえで当該国に係わる一般基礎データを確認し、押さえておくべき代表的な観光対象について画像・映像をも活用しながら紹介していく。アジア各国はそれぞれ特徴ある文化や観光資源を有しており、各々の特徴を確実に吸収することを目的とし適宜、復習テストを実施する。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 第1回 | ガイダンス | | | |
| 第2回 | アジアの地理的概要(国名、位置、首都等) | | | |
| 第3回 | シンガポール | | | |
| 第4回 | マレーシア | | | |
| 第5回 | インドネシア | | | |
| 第6回 | ベトナム | | | |
| 第7回 | タイ | | | |
| 第8回 | インド | | | |
| 第9回 | カンボジア | | | |
| 第10回 | 中国-① | | | |
| 第11回 | 中国-② | | | |
| 第12回 | 香港、マカオ | | | |
| 第13回 | フィリピン | | | |
| 第14回 | 韓国 | | | |
| 第15回 | まとめ | | | |
| 第16回 | 定期試験 | | | |
| 授業時間外の学習 | 授業で学習した代表的観光対象について、自分なりの手法で更に再確認することにより知識の定着に努めること。1.5時間程度 | | | |
| 履修条件 受講のルール | アジアの地理や観光資源に興味を有し理解を深めたいとの意思を有していること。 | | | |
| テキスト | 毎回、関連する資料(電子版)をポータルサイトを通して配付します。 | | | |
| 参考文献・資料 | 適宜、授業中に紹介します。 | | | |
| 成績評価の方法 | 定期試験 40%、復習テスト 15%、授業態度・取組姿勢 45%とし総合評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。 | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後に行います。 | | | |

| | |
|-------------------|--|
| 成績評価基準 | 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) |
| 実務経験及び実務を活かした授業内容 | |
| 学生へのメッセージ | 皆さんがどのような業界に就職しようともアジアの国々（人々）との関係は今後益々深まっていきます。従って将来に備えてアジア各国の観光地理はじめ基本的事項を知識として保有しておくことが大事です。日頃から興味を持ってテレビやWeb等各種メディアを通じてそれら知識の吸収を積み重ねて自分のものにして下さい。 |